

# えがお



発行・甲斐高之  
連絡先・大分市下郡字長谷496-38 TEL097-556-7757 FAX097-556-9288  
自宅・大分市判田台南3丁目13-5 TEL・FAX097-597-6889

## 初の一般質問に立つ！ ～学校教育と環境について問う～

3月10日より大分市議会の第1回定例会(3月議会)が開かれました。新人議員として、この市議会に臨めることに感謝し、これからも、皆さまの声を大切にして取り組んでいく覚悟を改めて心に刻んだ初日でした。22日(水)には、初の一般質問に立ち、学校教育に関連した3点と環境保全の取り組みについて質問しました。



### 一般質問したこと

#### 質問1 人員配置について

「子どもたちの学びを保障するための大分市独自の取り組みについて、学校現場が必要とする人員の確保や増員に向けた、今後の取り組みを具体的に聞きたい。」

##### ◎教育部長答弁

「個に応じたきめ細かな指導が必要であることから、複式学級における学年別指導も可能とするために非常勤講師25名を配置。特別な教育的支援を行う補助教員を120名に、司書業務の支援を行う学校図書館支援員を60名に、教育相談体制を強化するためのスクールソーシャルワーカーを20名にそれぞれ増員する予定である。今後とも教員に加えて多様な専門スタッフが学校教育に参画し、チームとしての学校体制の構築を進め、子どもたちの豊かな学びの実現に努めていきたい。」

◇①スクールソーシャルワーカーについては、急激な増員は人材面やスキルにおいて難しい点を考慮して、中長期的な見通しをもってすすめていくこと。②学校現場の多忙化を少しでも改善していくためには、「30人以下学級」の全学年への拡大が欠かせない施策であるので、県教委などに、教職員の基本定数の改善をはたらきかけること。以上2点を要望として付け加えた。

#### 質問2 小中学校空調設備整備事業について



「学校という工事期間や工事方法が制約される現場において、どのような工夫をして、全普通教室に冷暖房施設を設置しようとしているのか聞きたい。」

##### ◎教育部長答弁

「PFI手法による整備においては、民間資金や設計から施工監理を行う人材とその技術力を最大限に活用することで工期の短縮が可能となり、国からの財政措置や地方債が活用できることから市の財政負担の軽減が図れる。中学校を平成30年度の1ヶ年で、小学校を平成31年度と32年度の2ヶ年で整備を完了させることが可能となる。今後とも児童生徒にとって、毎日の学習の場である学校が、快適な施設となるよう整備に努めていきたい。」

◇①運用面での柔軟な対応を検討すること。②乾燥や換気、除菌対策も含めて、冬場の適正な空気環境の確保についても検討すること。以上2点を要望として付け加えた。

【甲斐の思い】確実にこの事業に取り組んでいくためと、メンテナンスも含めて、適正な空気環境の確保を計画段階で盛り込んでいく必要性を訴えるために質問と要望を行いました。※今後、空気環境の確保についての項目が計画段階で盛り込まれる予定。



#### 質問3 小学校給食での民間委託について

「学校給食は、教育活動の一環である。民間委託された調理員さんが、これまで通り、子どもたちとつながりや交流をしていくことが可能かどうか聞きたい。」

##### ◎教育部長答弁

「委託後においても、学校行事への参加や食に対する興味・理解が深まるような行事等を実施することにより、コミュニケーションを図るとともに、子どもたちに日常生活における食事についての正しい理解を深め、望ましい食習慣を養うこと等の指導を進めていきたい。」

◇①検証委員会については、学校現場の実態や要望に応じて進めていくこと。②子どもたちのことを中心に取り組んでいくこと。以上2点を要望として付け加えた。

【甲斐の思い】学校給食が、教育活動の一環であること、大分市の自校給食の良さを残していくことの大切さを訴えるために、質問と要望を行いました。※自校給食の良さの共通認識が再確認されました。

#### 質問4 環境保全の取り組みについて

「市民のみなさんが直接、口にする水道水のもととなる河川の水質を保全することが、安心、安全な生活を保障していく上で大切。そのための大分川、大野川などの公共用水域の水質保全の対策が、今年度改定される大分市環境基本計画においてどのように推進されようとしているのか、聞きたい。」

##### ◎環境部長答弁

「水源となる森林の保全、河川に流れ込む生活排水や事業場からの排水対策をしっかりと行う必要がある。植林や適切な間伐などにより、森林の持つ保水や水の浄化機能を高めることや河川の一斉清掃等に取り組む、豊かな自然を守ること。環境教育に取り組んでいく。」

#### 文教常任委員会にて 集団フッ化物洗口について追求

3月24日から3日間、文教常任委員会が行われました。一般会計予算案の審議の中で、「集団フッ化物洗口」について質問と要望を行いました。「大分市歯と口の健康づくり事業」として今後3年間で大分市内の全小中学校に広められようとしています。教育現場で、薬品を取り扱うことの危険性、教職員や保護者に不安と疑問があることを訴えました。フッ化物を教育現場に持ち込むことには反対の立場ですが、今後の丁寧な説明と現場への負担をなくすこと、保護者からの声をしっかりと聞き対応することなどを再度求め、予算案については、承認しました。



大分市議会議員退任者功労表彰式での指原元市議  
6期24年間、ありがとうございました。

##### ●編集後記●

市議会だよりの題字を「えがお」としました。ここでは、子どもたちの笑顔、家族の笑顔、働く仲間の笑顔、そして地域の皆さんの笑顔といった、みんなの笑顔がこれからも続いていきますようにとの願いを込めました。また、「さまざまな方とご縁(えん)を大切にして、がんばり抜きます。そして思いやり(おもいやり)の気持ちを常に持ち取り組んでいきます」と、自分の決意も込めています。記念すべき第1号です。これからよろしくお祈りします。

いつでもお気軽に声をかけてください(^O^)  
090-4991-6412  
フェイスブックでも、日々の活動・情報を発信中!ご覧になってください。

